

「国際人をめざす会」の湯澤先生の授業を受けての感想

横浜市立梅林小学校 6年3組（児童数 28名）

日 時 2019年2月22日（金） 11時～

・日本人らしさが分かった。また、日本はいろいろな国から輸入している所以他の国に頼っていることが分かった。他の国と違い日本は清潔で安全なことが分かった。「おはよう。いいね。ありがとう。ごめんね。よろしく、どうぞ」など外国はすぐにあいさつをするのに比べて、日本でも当たり前ではあるけれどなかなかできていないということが分かった。外国の良さも知れてよかった。そして、日本では簡単なことでも小さなことでもしっかりと謝ることが、外国では珍しいことにびっくりしました。これからも日本人らしさをしっかり理解して生活していきたいと思いました。

・私は将来パン屋さんになりたいです。お客様にたくさん食べて喜んでもらいたいし、私もパンが好きだからです。でも、お客様の中には外国人、日本語がうまくしゃべられない人もいます。なので、英語を知っている人がいないと外国人のお客様とお話ができず、帰ってもらうか通訳できる人を探さなきゃいけないことになるので、英語はとても大切だと思います。

・一人一人が違う事は、悪いことではなく、良い事だと知った。一人一人が違うからこそ、色々な意見・考えがうまると学んだ。では、同じ事はどうなっているのか。同じ事は共感と学んだ。だからこそ、違う事の大切さと同じ事の大切さを学んだ。この学びがこれからの自分にどういう風に反映するのかではなく、どういう風に反映させるのか考え行動しようと思った。また、“あいさつ”は、できていそうで、できていないという言葉も聞いてもしかしたら自分もそうかもしれないと感じた。ありがとう、いいね、等何でもいいからとにかく話すことで人と人との人間関係が深まるのだなと思った。何をするにしても“人間関係”がなければ、人間は何もできないだろうと思った。人間関係がなければいろいろな考えを聞く事もできないし、学校で何かをする事もできないと思った。今回の授業を通して、改めて“あいさつ”“人間関係”というものが大切だと思った。これから自分自身、どういう人になりたいか考え、一日一日を大切に、あいさつと人間関係、自分で考えるという事を大切にしていきたい。

・今日、湯澤さんの話を聞いて「人間関係」「違いの尊重」がどれだけ大切なのかが良く分かった。自分ができていない事もいくつか知る事ができたから、これからは、自分は「できているかな？」など意識を高くもちたい。でも、意識を高くもつだけでは、何もならないので行動に移せると良いと思った。今日のお話で、コミュニケーションとは何なのか、国際人とは何なのかを学んできつといろいろな事が心に響いたから、将来自分がどんな仕事につくはわからないけど、このことが活かせると良い。

・日本と海外の違いが分かった。違いについて、日本では当たり前で思っていることが海外では違うということが分かった。話を聞いて、人間関係も難しく大変だということを感じたが、あいさつをするということが一番大切だと思った。だれに対してもあいさつをするということを心がけていきたいと思った。もし、外国に行くとしたら、あいさつは忘れないようにしておきたい。

・「海外で通用する社員がいない」という話を聞いて、外国人とコミュニケーションをとって海外で活躍できるようになりたい。外国人が日本に来た時、家に泊めてあげて仲良くなりたい。そして、もっと外国のことを知りたい。今日は、人間関係や一人一人尊重し合うことの大切さを学んだ。これからは外国人におはようとかありがとうとかを大きな声で言っていきたい。そして日本人らしさを忘れないようにしたい。

・この学習を通して、海外に目を向けてみようと思いました。私は、看護師になりたいとっていて留学するならアメリカに行って最新の医学を学びたいと思いました。アメリカに住むいとこの家に行ってコミュニケーションを楽しみたいと思いました、